

## 工 事 仕 様 総 括

( 2 頁 )

I. 本工事は、下記により施工すること。

- ☒ ①日本下水道事業団「機械設備工事一般仕様書」
- ☐ ②日本下水道事業団「電気設備工事一般仕様書」
- ☒ ③国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」
- ☐ ④国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」
- ☒ ⑤添付の特記仕様書

# 特記仕様書

( 3 頁 )

I. 本工事は、通常の建設工事とは違い、機械設備の部分的な修繕工事です。

II. 通常の維持管理業務の妨げとならないように、工事を行うこと。

III. メーカー指定について

【設計書にメーカー指定のある場合】

他の号機との統一性を保つため、設計書のメーカー品を使用すること。

【設計書にメーカー指定のない場合】

承諾願い図書を提出していただき、既存の設備との関連性の中で、指示致します。

IV. 軽微な変更について

本工事施工中に構造物、機器設備の関係でおこる機器の位置、配管変更など軽微なる変更に伴う工事の変更は、請負金額の増減にかかわらず施工すること。

(別紙、参考資料を参照のこと)

V. 工事の時期について

工事できる時期や既存の設備の停止できる時間等については、打ち合わせの段階で明示いたします。

VI. 完成図書について

後日打ち合わせの段階で、完成図書の仕様・部数を明示いたします。

VII. 処分費について

撤去品の処分に必要な費用については、共通仮設費（準備費）に積上げ計上すること。

VIII. 既設材料の流用について

既設ケーブルは、離線・結線のみを行って流用とし、機械架台及びアンカーは既設流用とすること。